

3 集計結果より

(1) 「子どもは学校に来るのを楽しみにしている」について

良い評価「そう思う、まあそう思う」の割合 昨年度約91%⇒今年度約91%

- ・昨年度と同じく、良い評価が高い割合を示しています。学校は、やはり児童が毎日「楽しい」と期待して通って来られる所ではなくてはならないと考えます。その点では及第点をつけられるのではないかと思います。ただし「あまりそう思わない」等の意見が約5%あるのも事実です。全員が「そう思う、まあそう思う」と言えるようにしていかなければなりません。そのために学校として「厳しさの中にも温かさのある指導」をさらに徹底していきます。

(2) 「学校では子ども一人一人を大切に指導している」について

良い評価「そう思う、まあそう思う」の割合 昨年度約80%⇒今年度約88%

「学校は思いやりのある児童の育成に努めている」について

良い評価「そう思う、まあそう思う」の割合 昨年度約77%⇒今年度約84%

- ・学校教育目標の「心豊かに力強く生きる児童の育成 ～一人でも生きられる強さとみんなとも生きられる優しさを持った子～」を目指して取り組んでいる先生方の指導が保護者の方々にも伝わりつつあるのではないかと考えられます。学校生活の中では、児童どうしの良い交友関係が随所に見受けられています。

(3) 「学校は教育活動をわかりやすく伝えている」について

良い評価「そう思う、まあそう思う」の割合 昨年度約81%⇒今年度約89%

「学校は地域・保護者と連携して教育活動を行っている」について

良い評価「そう思う、まあそう思う」の割合 昨年度約84%⇒今年度約90%

「家庭では学校の教育活動に協力するように心がけている」について

良い評価「そう思う、まあそう思う」の割合 昨年度約91%⇒今年度約93%

- ・保護者の方々は学校側に協力的であると考えられるので、学校側から保護者に対して、学校での様子を密に伝える必要があると思われます。この点に関しては、昨年度より努力していったことが保護者の方々に伝わっていったと考えられます。さらに来年度以降も学校における指導を理解していただけるようにしていきます。学校での教育活動を家庭にわかりやすく伝えることはできるようになってきていることはとても大きな成果です。そのため、地域・保護者とも連携して教育活動を行っていると考えられます。

(4) 「家庭学習の習慣が身についてきている」について

良い評価「そう思う、まあそう思う」の割合 昨年度約64%⇒今年度約62%

- ・全項目中、一番低い評価となっています。家庭学習は、少なくとも「学年×10分」と言われます。まず1日、それだけの時間、家の机に向かうことが大事だと思います。それを2日、3日と続け、習慣化できるとよいでしょう。学校の学習でも児童自身が常に「できた」実感を持ち、その上で「家庭学習でもこの勉強をやってみよう」という必要性を感じられるように、そして、家庭学習の習慣をもっと身につけられるように考えながら取り組んでいきます。(千葉県教育委員会ホームページ⇒「家庭学習のすすめ 小学生版」⇒「家庭学習のすすめ リーフレット 小学校低学年・中学年・高学年」に資料があります。)

来年度も子ども達が落ち着いた学校生活を送れるように、今後とも色々な面でご協力よろしくお願ひいたします。